

## 6 各地域の新規就農経営モデル

新規に就農される方が就農から経営の改善・発展段階まで行政等から支援（資金利用等）を受けやすくするためには青年等就農計画を市町村に認定してもらう必要があります。認定基準は市町村により異なりますが、概ね300万円前後の所得が目標となります。就農から5年後の目指す経営、または各地域での代表的で実現可能と思われる経営モデルを以下のとおり掲載しますので作目選定や就農計画の策定に活用ください。

※経営モデルは例であって、農地や所得を補償するものではありません

各地域の新規就農経営モデル

経営類型	作目	露地・施設	面積 (a)	粗収益 (万円)	経営費 (万円)	所得 (万円)	所得 (万円)	経営事例	主な営農地域
露地野菜	ブロッコリー(2作)	露地	20	83.5	47	36.5	37	のべ耕作面積120a 農業所得303万円 労働力2人	海草 那賀
	キャベツ	露地	50	286	163	123	123		
	ハクサイ	露地	40	224	146.5	77.5	78		
	ナス	露地	10	157	92	65	65		
	ナス	露地	7	150	100	50	50	のべ耕作面積101a 農業所得353万円 労働力2名	西牟婁
	オクラ	露地	7	150	100	50	50		
	レタス	露地	30	120	50	70	70		
	その他野菜*	露地	57	439	256	183	183		
施設野菜	イチゴ	施設	14	617	312	305	305	のべ耕作面積14a 農業所得305万円 労働力2人	那賀 有田
	ミニトマト	施設	10	792	466	326	326	のべ耕作面積10a 農業所得約325万円 家族労働力2人 (JA出荷(専門部会加入・精度等の出荷基準有り))	日高
野菜	ハウススイ(促成:冬春どり)	施設	30	576	376	200	200	のべ耕作面積80a 農業所得約325万円 家族労働力2人	日高
	小玉スイカ	露地(トンネル)	30	207	137	70	70	(ハウスイの収穫・調整作業等に臨時雇用有)(JA出荷)	
	ブロッコリー	露地	20	91	36	55	55	のべ耕作面積17a 農業所得363万円 労働力2名	西牟婁
	イチゴ	施設	5	260	70	190	190		
	ナス	露地	5	200	50	150	150		
	ブロッコリー	露地	7	30	7	23	23	のべ耕作面積20a 農業所得315万円 労働力2人	東牟婁
	イチゴ	施設	15	675	428	248	248		
ナス	露地	5	110	43	67	67			
野菜 + 果樹	イチゴ	施設	10	402	210	192	192	のべ耕作面積50a 農業所得312万円 労働力2人	伊都
	カキ(刀根早生)	露地	40	240	120	120	120		
露地果樹	温州みかん(晩生)	露地	50	467	204	263	263	のべ耕作面積60a 農業所得322万円 労働力2人	海草
	キウイフルーツ	露地	10	105	46	59	59		
	カキ(紀北川上早生)	露地	30	201	72	129	129	のべ耕作面積90a 農業所得303万円 労働力2人	伊都
	カキ(刀根早生)	露地	40	240	120	120	120		
	カキ(平核無)	露地	20	98	44	54	54	のべ耕作面積45a 農業所得300万円 労働力2人	那賀
	桃中生(白鳳)	露地	25	320	155	165	165		
	イチジク	露地	20	263	128	135	135		
	温州みかん(極早生 ゆら早生)	露地	20	80				のべ耕作面積120a 農業所得325万円 労働力2人	有田
	温州みかん(早生)	露地	100	665	420	325	325		

\*その他野菜内訳(ハクサイ20a、キャベツ10a、ブロッコリー10a、ダイコン5a、ピーマン5a、サトイモ3a、ニンジン2a、スナップエンドウ1a、ホウレンソウ1a)